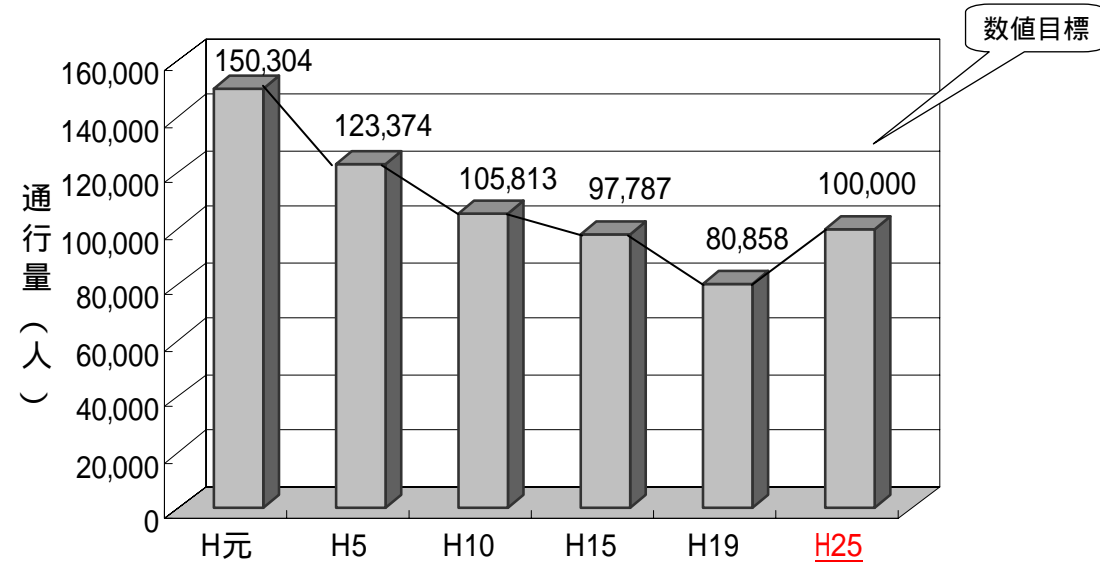


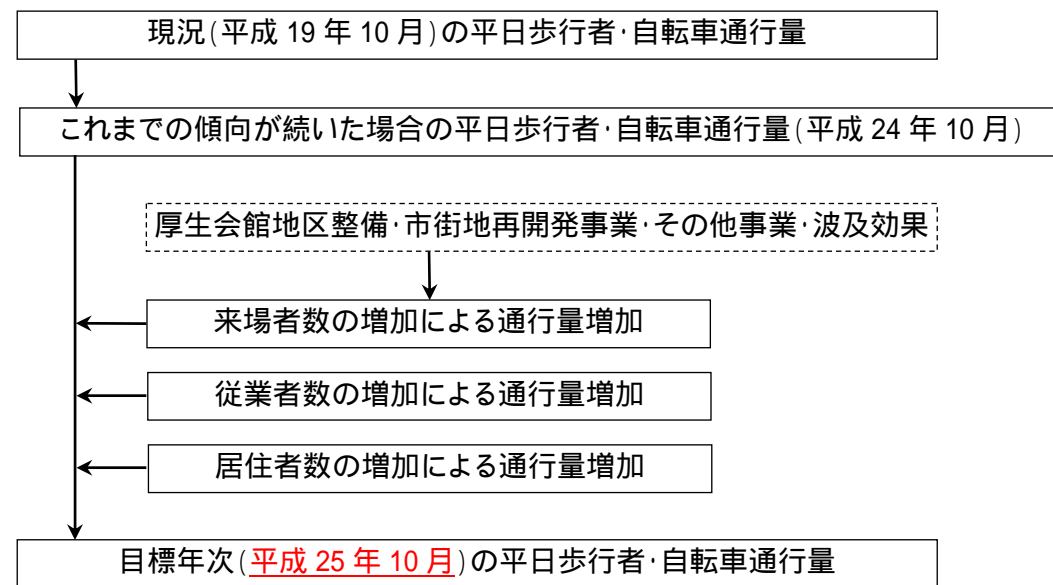
長岡市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表（傍線赤文字部分は変更箇所）

変 更 後	変 更 前																																																																		
<p>計画期間：<u>平成 20 年 11 月から平成 26 年 3 月（5 年 5 月）</u></p> <p>3 . 中心市街地の活性化の目標</p> <p>[ 1 ] 略</p> <p>[ 2 ] 計画期間の考え方 本計画の計画期間は、平成 20 年 11 月から、実施事業の効果が現れると考えられる<u>平成 26 年 3 月までの 5 年 5 月とする。</u></p> <p>[ 3 ] 略</p> <p>[ 4 ] 具体的な数値目標</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>指標</th> <th>数値根拠</th> <th>基準値</th> <th>数値目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)まちに「来る人」を増やす</td> <td>歩行者・自転車通行量</td> <td>14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値</td> <td>平成 19 年 10 月 80,858 人</td> <td><u>平成 25 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)</td> </tr> <tr> <td>(2)まちに「住む人」を増やす</td> <td>居住者</td> <td>住民基本台帳による中心市街地内の居住者数</td> <td>平成 20 年 4 月 5,521</td> <td><u>平成 26 年 4 月</u> 6,000 人 (8.7%増加)</td> </tr> <tr> <td>(3)まちで「働く人」を増やす</td> <td>従業者数</td> <td>経済センサスによる中心市街地における従業者数</td> <td>平成 18 年 10 月 15,934 人</td> <td><u>平成 26 年 4 月</u> 16,600 人 (2.7%増加)</td> </tr> <tr> <td>(4)まちで「活動する人」を増やす</td> <td>まちなか交流拠点（ｼﾞｲﾎｰﾙ）施設利用者数</td> <td>各施設（行政庁舎を除く。）の年間利用者数の累計</td> <td>平成 18 年度 325,000 人</td> <td><u>平成 25 年度</u> 780,000 人 (140%増加)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[ 5 ] 数値目標設定の考え方</p> <p>( 1 ) まちに「来る人」を増やす ( 途中略 ) このため、本計画に基づく <u>5 年間</u>の事業展開による目標設定に当たり、平成 7 年から 12 年にかけて相次いだ大型店の撤退が歩行者・自転車通行量の減少に拍車をかけたことを踏まえ、おおむね平成 12 年頃の歩行者・自転車通行量まで回復させることを目指すものとする。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><u>計画変更により、計画の終期を当初設定していた平成 25 年 3 月から平成 26 年 3 月へ延長したが、新規事業等の実施等がなく、各種継続事業を継続して取り組むことから、これに伴う推計値・事業効果の増減は考慮せず、平成 24 年度目標数値をそのまま平成 25 年度目標数値とする。</u></p> </div> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>数値根拠</th> <th>現状数値</th> <th>数値目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩行者・自転車通行量</td> <td>14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値</td> <td>平成 19 年 10 月 80,858 人</td> <td><u>平成 25 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)</td> </tr> </tbody> </table>	目標	指標	数値根拠	基準値	数値目標	(1)まちに「来る人」を増やす	歩行者・自転車通行量	14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値	平成 19 年 10 月 80,858 人	<u>平成 25 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)	(2)まちに「住む人」を増やす	居住者	住民基本台帳による中心市街地内の居住者数	平成 20 年 4 月 5,521	<u>平成 26 年 4 月</u> 6,000 人 (8.7%増加)	(3)まちで「働く人」を増やす	従業者数	経済センサスによる中心市街地における従業者数	平成 18 年 10 月 15,934 人	<u>平成 26 年 4 月</u> 16,600 人 (2.7%増加)	(4)まちで「活動する人」を増やす	まちなか交流拠点（ｼﾞｲﾎｰﾙ）施設利用者数	各施設（行政庁舎を除く。）の年間利用者数の累計	平成 18 年度 325,000 人	<u>平成 25 年度</u> 780,000 人 (140%増加)	指標	数値根拠	現状数値	数値目標	歩行者・自転車通行量	14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値	平成 19 年 10 月 80,858 人	<u>平成 25 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)	<p>計画期間：<u>平成 20 年 11 月から平成 25 年 3 月（4 年 5 月）</u></p> <p>3 . 中心市街地の活性化の目標</p> <p>[ 1 ] 略</p> <p>[ 2 ] 計画期間の考え方 本計画の計画期間は、平成 20 年 11 月から、実施事業の効果が現れると考えられる<u>平成 25 年 3 月までの 4 年 5 月とする。</u></p> <p>[ 3 ] 略</p> <p>[ 4 ] 具体的な数値目標</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>指標</th> <th>数値根拠</th> <th>基準値</th> <th>数値目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)まちに「来る人」を増やす</td> <td>歩行者・自転車通行量</td> <td>14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値</td> <td>平成 19 年 10 月 80,858 人</td> <td><u>平成 24 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)</td> </tr> <tr> <td>(2)まちに「住む人」を増やす</td> <td>居住者</td> <td>住民基本台帳による中心市街地内の居住者数</td> <td>平成 20 年 4 月 5,521</td> <td><u>平成 25 年 4 月</u> 6,000 人 (8.7%増加)</td> </tr> <tr> <td>(3)まちで「働く人」を増やす</td> <td>従業者数</td> <td>経済センサスによる中心市街地における従業者数</td> <td>平成 18 年 10 月 15,934 人</td> <td><u>平成 25 年 4 月</u> 16,600 人 (2.7%増加)</td> </tr> <tr> <td>(4)まちで「活動する人」を増やす</td> <td>まちなか交流拠点（ｼﾞｲﾎｰﾙ）施設利用者数</td> <td>各施設（行政庁舎を除く。）の年間利用者数の累計</td> <td>平成 18 年度 325,000 人</td> <td><u>平成 24 年度</u> 780,000 人 (140%増加)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[ 5 ] 数値目標設定の考え方</p> <p>( 1 ) まちに「来る人」を増やす ( 途中略 ) このため、本計画に基づく <u>5 年間</u>の事業展開による目標設定に当たり、平成 7 年から 12 年にかけて相次いだ大型店の撤退が歩行者・自転車通行量の減少に拍車をかけたことを踏まえ、おおむね平成 12 年頃の歩行者・自転車通行量まで回復させることを目指すものとする。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>数値根拠</th> <th>現状数値</th> <th>数値目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩行者・自転車通行量</td> <td>14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値</td> <td>平成 19 年 10 月 80,858 人</td> <td><u>平成 24 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)</td> </tr> </tbody> </table>	目標	指標	数値根拠	基準値	数値目標	(1)まちに「来る人」を増やす	歩行者・自転車通行量	14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値	平成 19 年 10 月 80,858 人	<u>平成 24 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)	(2)まちに「住む人」を増やす	居住者	住民基本台帳による中心市街地内の居住者数	平成 20 年 4 月 5,521	<u>平成 25 年 4 月</u> 6,000 人 (8.7%増加)	(3)まちで「働く人」を増やす	従業者数	経済センサスによる中心市街地における従業者数	平成 18 年 10 月 15,934 人	<u>平成 25 年 4 月</u> 16,600 人 (2.7%増加)	(4)まちで「活動する人」を増やす	まちなか交流拠点（ｼﾞｲﾎｰﾙ）施設利用者数	各施設（行政庁舎を除く。）の年間利用者数の累計	平成 18 年度 325,000 人	<u>平成 24 年度</u> 780,000 人 (140%増加)	指標	数値根拠	現状数値	数値目標	歩行者・自転車通行量	14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値	平成 19 年 10 月 80,858 人	<u>平成 24 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)
目標	指標	数値根拠	基準値	数値目標																																																															
(1)まちに「来る人」を増やす	歩行者・自転車通行量	14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値	平成 19 年 10 月 80,858 人	<u>平成 25 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)																																																															
(2)まちに「住む人」を増やす	居住者	住民基本台帳による中心市街地内の居住者数	平成 20 年 4 月 5,521	<u>平成 26 年 4 月</u> 6,000 人 (8.7%増加)																																																															
(3)まちで「働く人」を増やす	従業者数	経済センサスによる中心市街地における従業者数	平成 18 年 10 月 15,934 人	<u>平成 26 年 4 月</u> 16,600 人 (2.7%増加)																																																															
(4)まちで「活動する人」を増やす	まちなか交流拠点（ｼﾞｲﾎｰﾙ）施設利用者数	各施設（行政庁舎を除く。）の年間利用者数の累計	平成 18 年度 325,000 人	<u>平成 25 年度</u> 780,000 人 (140%増加)																																																															
指標	数値根拠	現状数値	数値目標																																																																
歩行者・自転車通行量	14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値	平成 19 年 10 月 80,858 人	<u>平成 25 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)																																																																
目標	指標	数値根拠	基準値	数値目標																																																															
(1)まちに「来る人」を増やす	歩行者・自転車通行量	14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値	平成 19 年 10 月 80,858 人	<u>平成 24 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)																																																															
(2)まちに「住む人」を増やす	居住者	住民基本台帳による中心市街地内の居住者数	平成 20 年 4 月 5,521	<u>平成 25 年 4 月</u> 6,000 人 (8.7%増加)																																																															
(3)まちで「働く人」を増やす	従業者数	経済センサスによる中心市街地における従業者数	平成 18 年 10 月 15,934 人	<u>平成 25 年 4 月</u> 16,600 人 (2.7%増加)																																																															
(4)まちで「活動する人」を増やす	まちなか交流拠点（ｼﾞｲﾎｰﾙ）施設利用者数	各施設（行政庁舎を除く。）の年間利用者数の累計	平成 18 年度 325,000 人	<u>平成 24 年度</u> 780,000 人 (140%増加)																																																															
指標	数値根拠	現状数値	数値目標																																																																
歩行者・自転車通行量	14 地点における平日 13 時間通行者数の合計値	平成 19 年 10 月 80,858 人	<u>平成 24 年 10 月</u> 100,000 人 (23.7%増加)																																																																



(以下略)

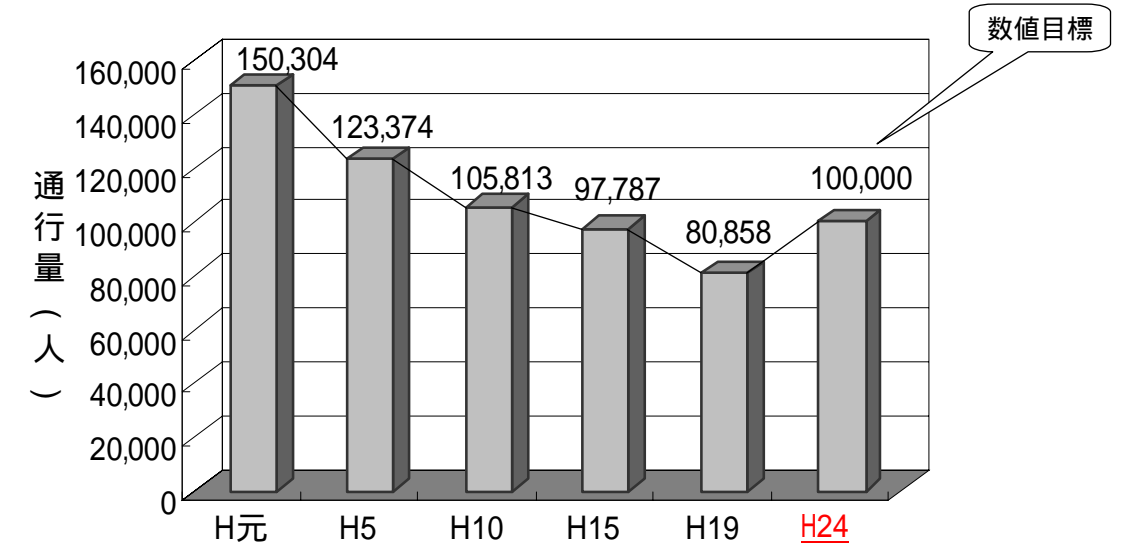
[検討フロー]



から 略

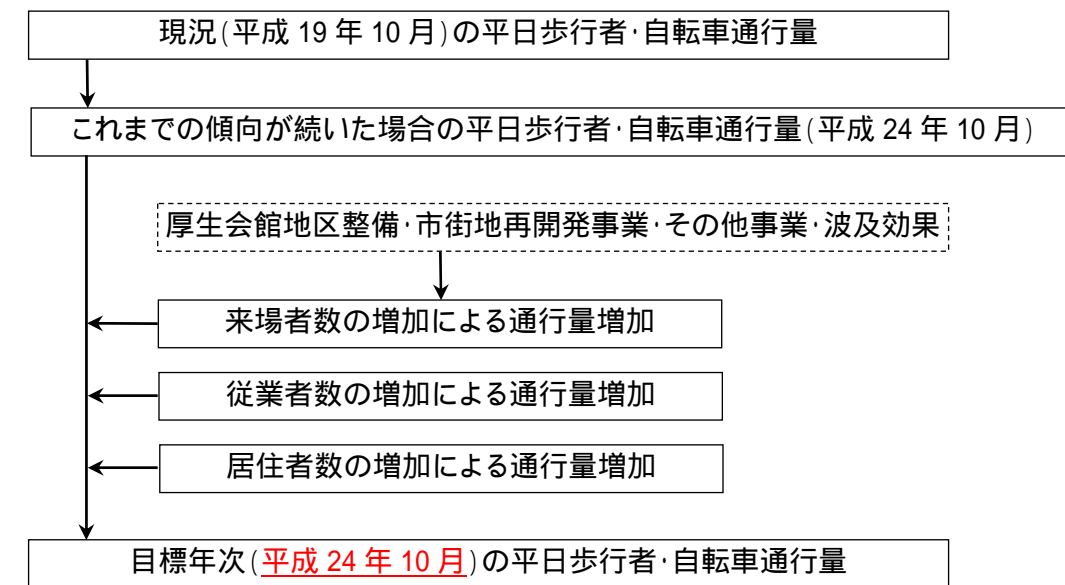
フォローアップの考え方

歩行者・自転車通行量については、厚生会館地区整備、市街地再開発等の各種事業の施工に伴う工事期間中、一時的な減少等の影響が予想される。このため、大手通中央西地区市街地再開発事業が完了し、効果が現れる平成22年秋に中間年次の調査を行い、必要に応じて改善策を実施するとともに、平成25年秋に最終年次の調査を行い、目標の達成状況を確認するものとする。



(以下略)

[検討フロー]



から 略

フォローアップの考え方

歩行者・自転車通行量については、厚生会館地区整備、市街地再開発等の各種事業の施工に伴う工事期間中、一時的な減少等の影響が予想される。このため、大手通中央西地区市街地再開発事業が完了し、効果が現れる平成22年秋に中間年次の調査を行い、必要に応じて改善策を実施するとともに、平成24年秋に最終年次の調査を行い、目標の達成状況を確認するものとする。

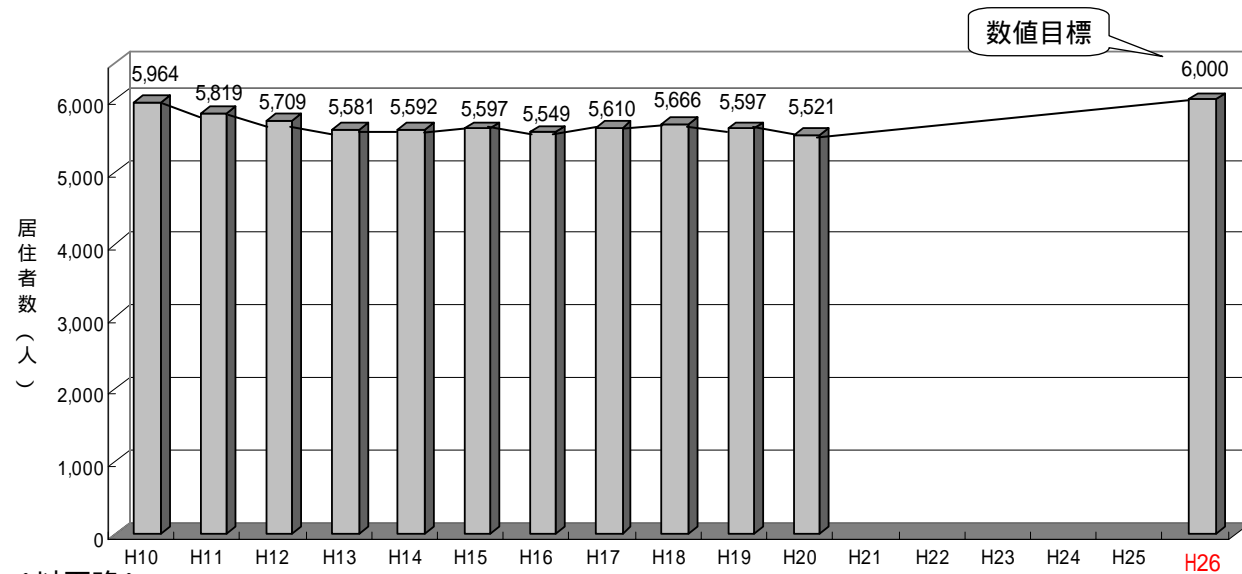
(2) まちに「住む人」を増やす  
(途中略)

このように全市的な人口減少が見込まれる中で、中心市街地における居住者の大幅な増加を見込むことは困難であるが、地域コミュニティの活性化や、日常の買い物需要の維持涵養を図る観点から、本計画に基づく事業展開により、居住者数の現状維持・微減傾向に歯止めをかけ、5年後に増加に転じることを目指すものとする。

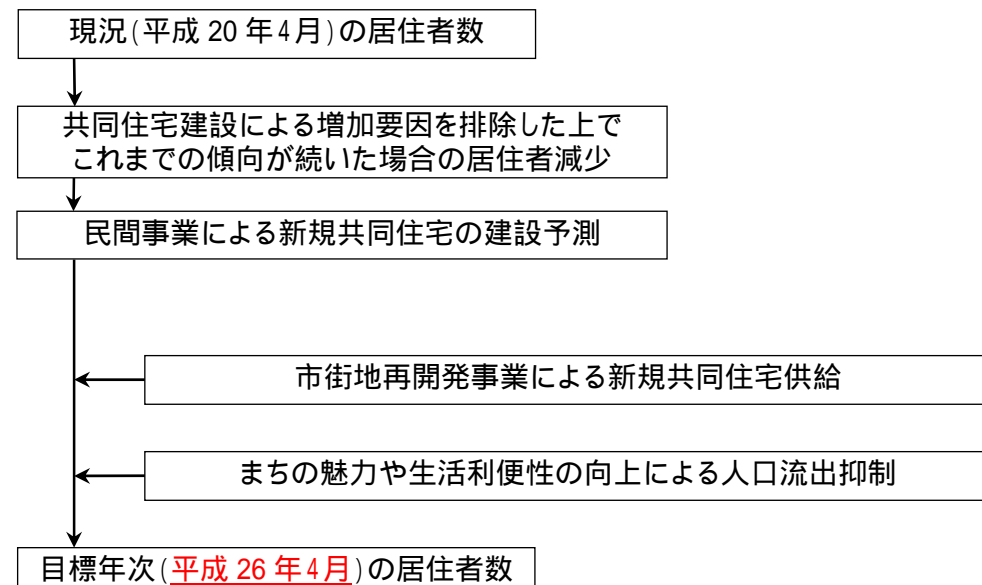
計画変更により、計画の終期を当初設定していた平成25年3月から平成26年3月へ延長したが、新規事業等の実施等がなく、各種継続事業を継続して取り組むことから、これに伴う推計値・事業効果の増減は考慮せず、平成24年度目標数値をそのまま平成25年度目標数値とする。

指標	数値根拠	現状数値	数値目標
居住者	住民基本台帳による中心市街地内の居住者数	平成20年4月 5,521	<u>平成26年4月</u> 6,000人 (8.7%増加)

平成26年3月末時点のデータを集計



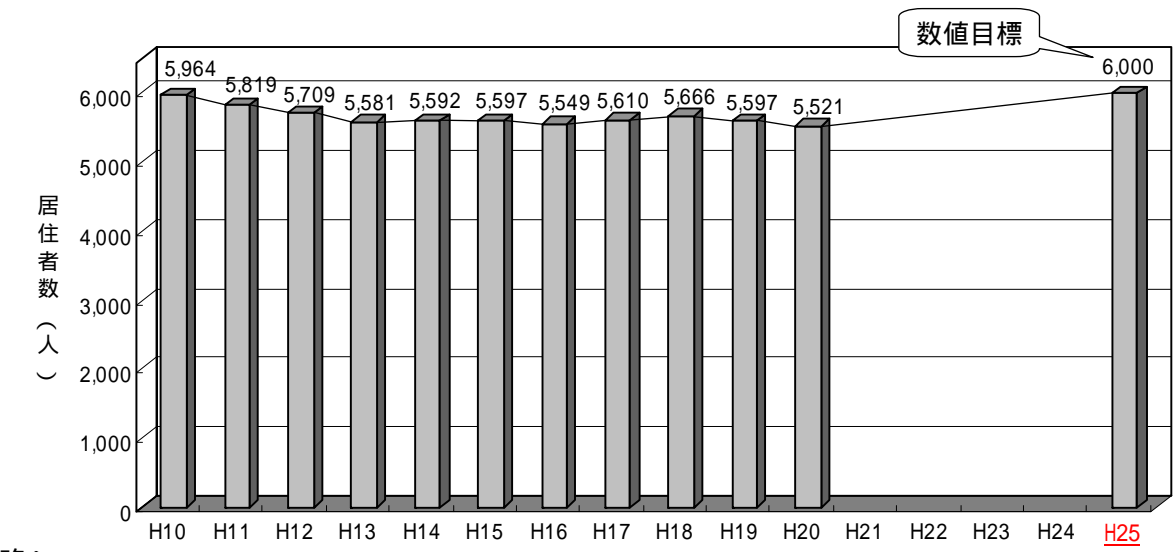
(以下略)  
[検討フロー]



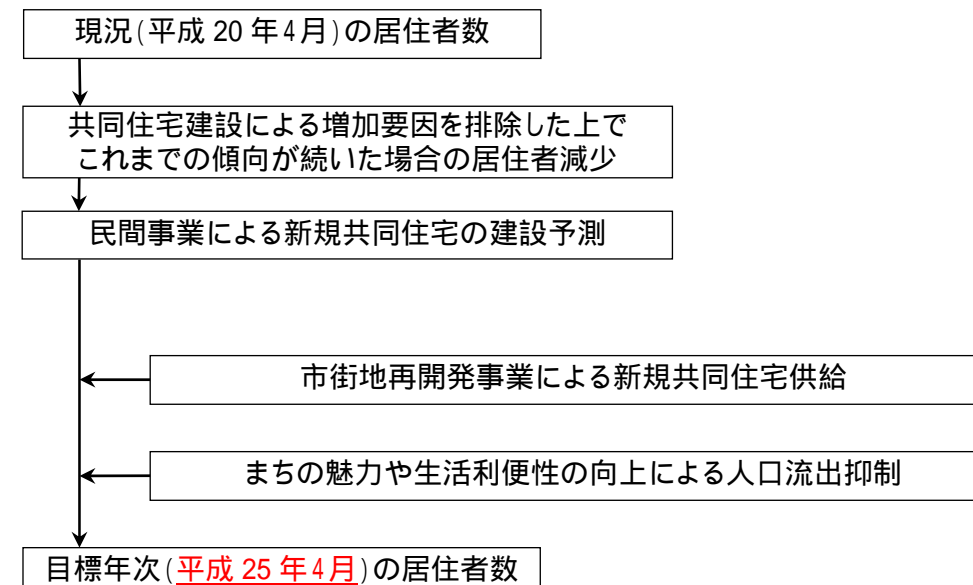
(2) まちに「住む人」を増やす  
(途中略)

このように全市的な人口減少が見込まれる中で、中心市街地における居住者の大幅な増加を見込むことは困難であるが、地域コミュニティの活性化や、日常の買い物需要の維持涵養を図る観点から、本計画に基づく事業展開により、居住者数の現状維持・微減傾向に歯止めをかけ、5年後に増加に転じることを目指すものとする。

指標	数値根拠	現状数値	数値目標
居住者	住民基本台帳による中心市街地内の居住者数	平成20年4月 5,521	<u>平成25年4月</u> 6,000人 (8.7%増加)



(以下略)  
[検討フロー]



から 略

### フォローアップの考え方

居住者数については、厚生会館地区整備、市街地再開発等の各種事業の施工に伴う工事期間中、一時的な減少等の影響が予想される。このため、大手通り中央西地区市街地再開発事業が完了し、効果が現れる平成23年4月に中間年次の数値を把握し、必要に応じて改善策を実施するとともに、平成26年4月に最終年次の数値を把握し、目標の達成状況を確認するものとする。

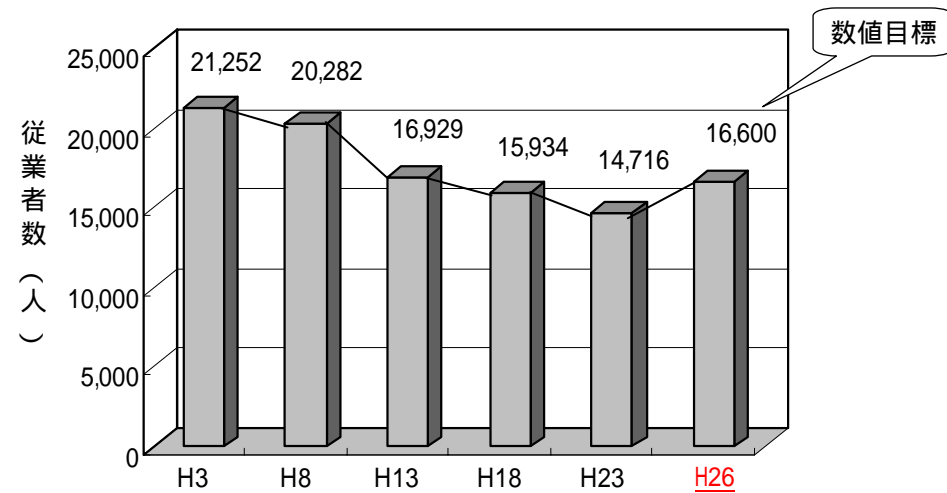
### (3) まちで「働く人」を増やす (途中略)

少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少傾向が見込まれる中で、中心市街地における従業者数の大幅な増加を見込むことは困難であるが、昼間人口の増加によるまちなかの賑わい回復を図る観点から、本計画に基づく事業展開により、従業者数の長期的な減少傾向に歯止めをかけ、5年後に増加に転じることを目標とする。

計画変更により、計画の終期を当初設定していた平成25年3月から平成26年3月へ延長したが、新規事業等の実施等がなく、各種継続事業を継続して取り組むことから、これに伴う推計値・事業効果の増減は考慮せず、平成24年度目標数値をそのまま平成25年度目標数値とする。

指標	数値根拠	現状数値	数値目標
従業者数	経済センサスによる中心市街地における従業者数	平成18年10月 15,934人	<u>平成26年4月</u> 16,600人 (2.7%増加)

平成26年3月末  
時点の状況を推計



から 略

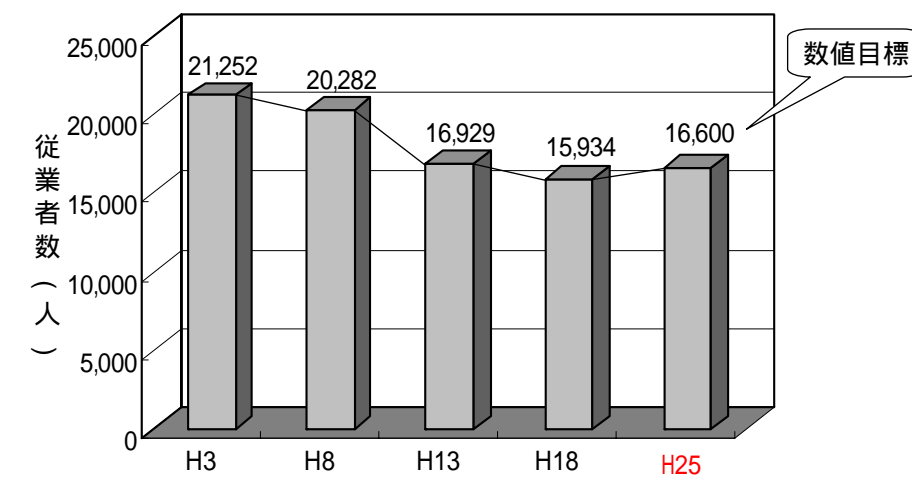
### フォローアップの考え方

居住者数については、厚生会館地区整備、市街地再開発等の各種事業の施工に伴う工事期間中、一時的な減少等の影響が予想される。このため、大手通り中央西地区市街地再開発事業が完了し、効果が現れる平成23年4月に中間年次の数値を把握し、必要に応じて改善策を実施するとともに、平成25年4月に最終年次の数値を把握し、目標の達成状況を確認するものとする。

### (3) まちで「働く人」を増やす (途中略)

少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少傾向が見込まれる中で、中心市街地における従業者数の大幅な増加を見込むことは困難であるが、昼間人口の増加によるまちなかの賑わい回復を図る観点から、本計画に基づく事業展開により、従業者数の長期的な減少傾向に歯止めをかけ、5年後に増加に転じることを目標とする。

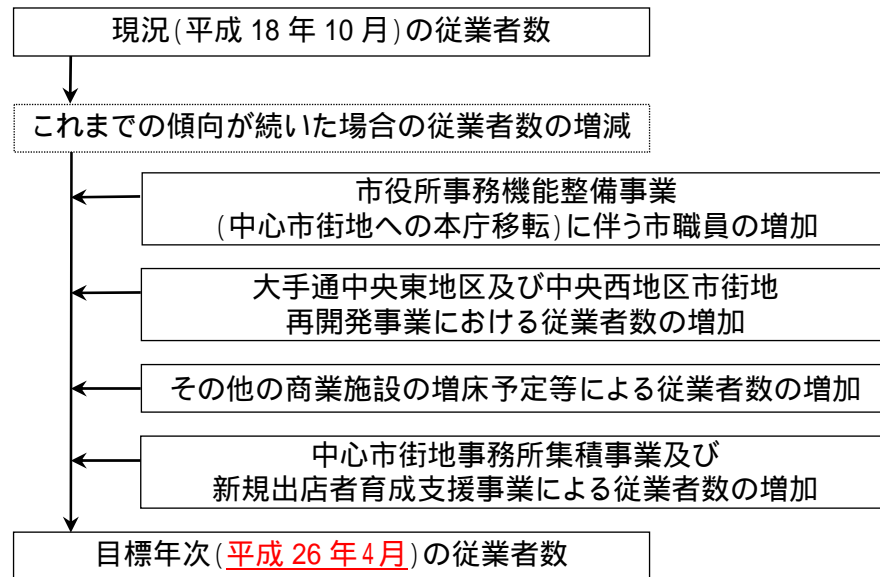
指標	数値根拠	現状数値	数値目標
従業者数	経済センサスによる中心市街地における従業者数	平成18年10月 15,934人	<u>平成25年4月</u> 16,600人 (2.7%増加)





(以下略)

[検討フロー]



から 略

フォローアップの考え方

従業者数については、事業所・企業統計調査の数値を根拠としている。事業所・企業統計調査は経済センサスに統合されることから、平成21年度の経済センサスの数値を把握し、必要に応じて改善策を実施するとともに、平成23年度の経済センサスの数値をもとに、平成26年3月時点での区域内の従業者数を推計するものとする。

(4) まちで「活動する人」を増やす

(途中略)

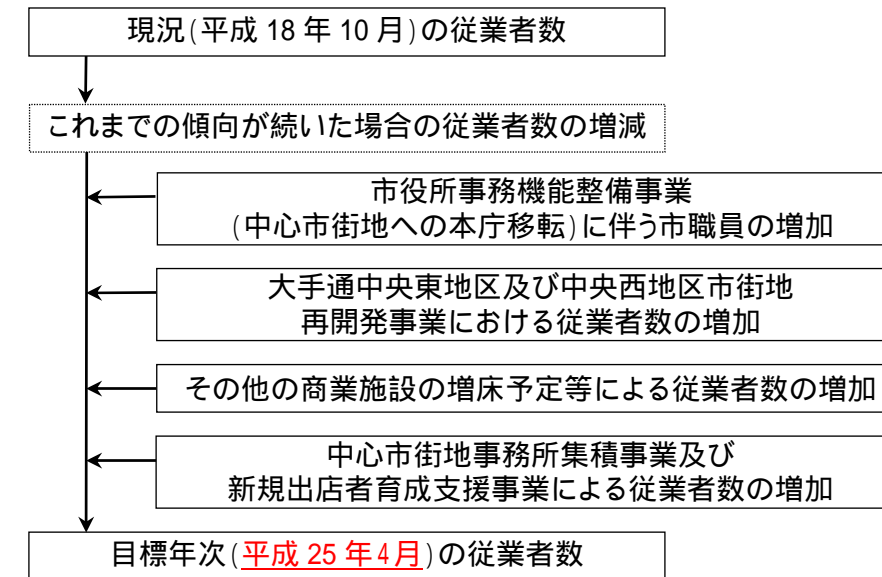
このような歴史を有する厚生会館地区において、新たに建設するシティホールの基本理念は「市民協働」であり、市民力の拠点施設である。現厚生会館の機能を継承し発展させる多目的アリーナ等に加え、屋根付き広場などの新たな施設を導入することにより、最盛期の利用者数にほぼ匹敵する78万人にすることを目指すものとする。

計画変更により、計画の終期を当初設定していた平成25年3月から平成26年3月へ延長したが、新規事業等の実施等がなく、各種継続事業を継続して取り組むことから、これに伴う推計値・事業効果の増減は考慮せず、平成24年度目標数値をそのまま平成25年度目標数値とする。

指標	数値根拠	現状数値	数値目標
まちなか交流拠点(シティホール)施設利用者数	各施設(行政庁舎を除く。)の年間利用者数の累計	平成18年度 325,000人	平成25年度 780,000人 (140%増加)

(以下略)

[検討フロー]



から 略

フォローアップの考え方

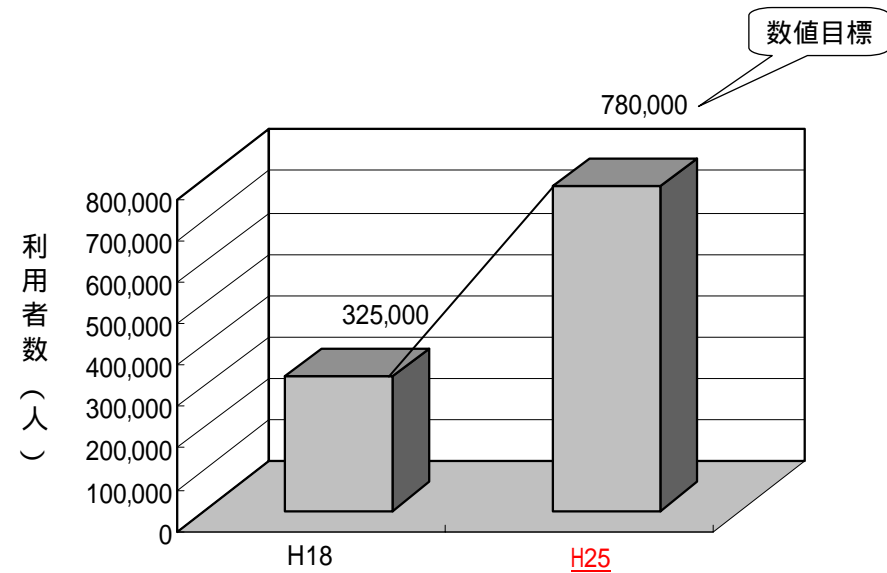
従業者数については、事業所・企業統計調査の数値を根拠としている。事業所・企業統計調査は経済センサスに統合されることから、平成21年度の経済センサスの数値を把握し、必要に応じて改善策を実施するとともに、平成23年度の経済センサスの数値をもとに、平成25年3月時点での区域内の従業者数を推計するものとする。

(4) まちで「活動する人」を増やす

(途中略)

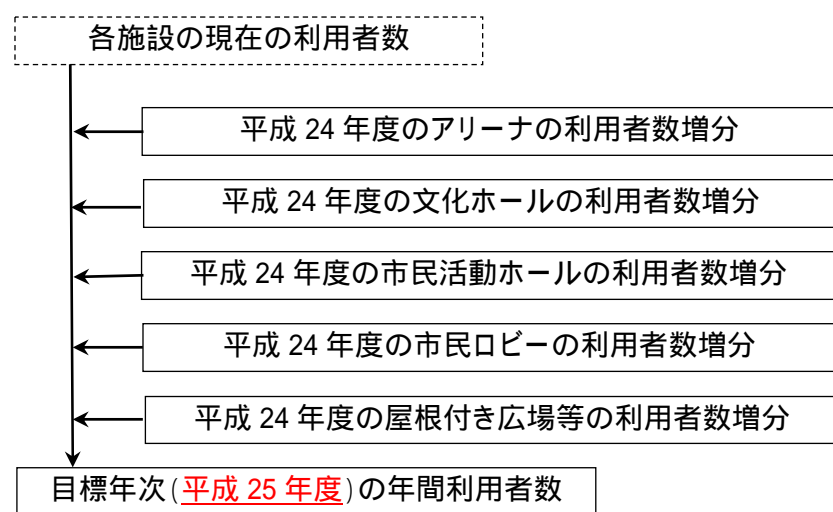
このような歴史を有する厚生会館地区において、新たに建設するシティホールの基本理念は「市民協働」であり、市民力の拠点施設である。現厚生会館の機能を継承し発展させる多目的アリーナ等に加え、屋根付き広場などの新たな施設を導入することにより、最盛期の利用者数にほぼ匹敵する78万人にすることを目指すものとする。

指標	数値根拠	現状数値	数値目標
まちなか交流拠点(シティホール)施設利用者数	各施設(行政庁舎を除く。)の年間利用者数の累計	平成18年度 325,000人	平成24年度 780,000人 (140%増加)



(以下略)

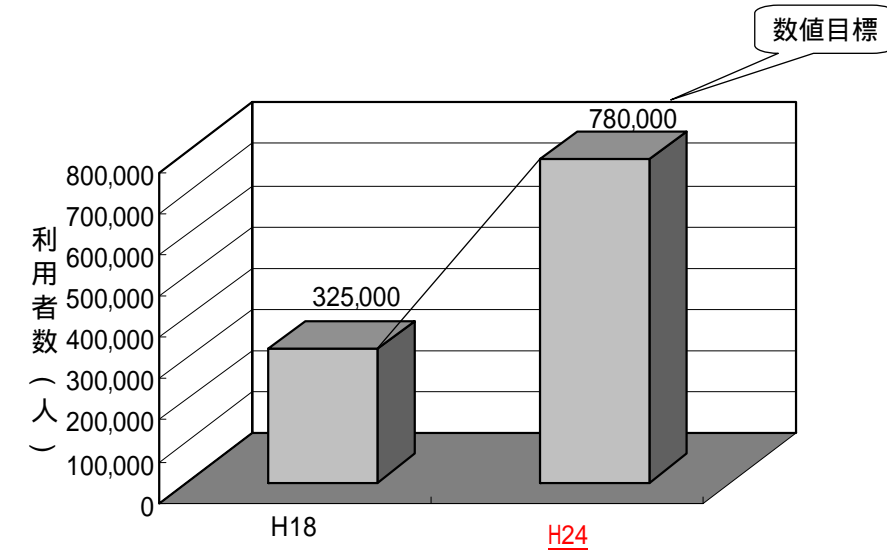
[検討フロー]



から 略

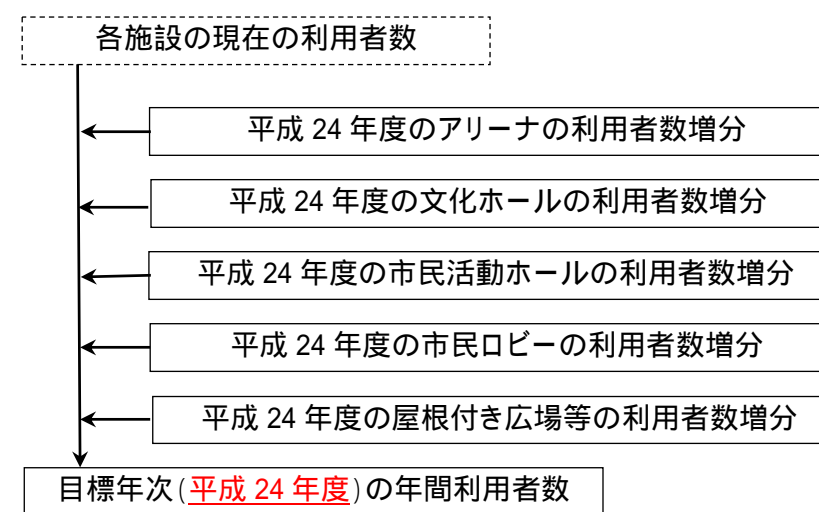
フォローアップの考え方

平成 20 年度から厚生会館の除去工事を開始し、平成 24 年度にまちなか交流拠点(シティホール)の利用が開始されるため、平成 24 年度の利用者数を把握し、必要により改善策を実施した上で、平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月に最終年次の利用者数を把握するものとする。



(以下略)

[検討フロー]



から 略

フォローアップの考え方

平成 20 年度から厚生会館の除去工事を開始し、平成 23 年度にまちなか交流拠点(シティホール)の利用が開始されるため、中間年度のフォローアップは困難であるが、共用開始から平成 24 年 3 月までの利用状況を把握し、必要により改善策を実施した上で、平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月に最終年次の利用者数を把握するものとする。